

安全に使用するために ~サンプリング編~



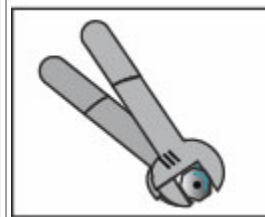
外部からの損傷

次のような状況を避けてください。
引張荷重または荷重
磨耗
よじれによるダメージ
シール面の損傷



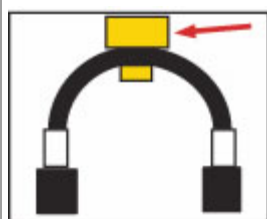
スイベルアダプター

固定されているアダプタにトルクを伝達しません。チューブを回転させずに取り付けることができます。
スイベルアダプタの締付けには、必ずレンチを2本使ってください



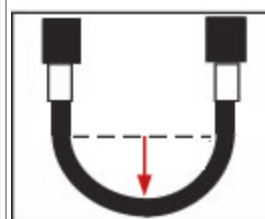
クランプ&振動

重いホースやチューブを振動、ひっぱり、疲労から守るためにクランプを使用してください。
注意：クランプを使用した場合、ホースやチューブに摩耗を引き起こす場合があります。



最小曲半径

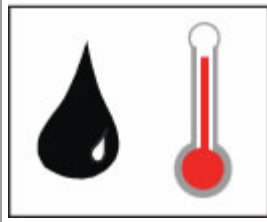
漏れや破損、早期故障の原因となりますので、ホースを強く曲げるのはおやめください。
強く曲げるとホースの寿命を縮めます。



<p>エルボーとアダプタ</p> <p>ホースが強く曲らないように、エルボーとアダプタを使用してください。</p>		<p>ホース長さ:</p> <p>ホースが長すぎるとシステム全体のパフォーマンスに影響を与える圧力損失を増大させます。</p>	
<p>圧力によるホースの長さ</p> <p>極度の圧力下では、ホースは直径方向に伸び縮みます。極度の圧力のあるアプリケーションで使用する場合、ホースが膨張することがあるので十分なスペースを確保してください。</p>		<p>ねじれ防止</p> <p>ねじれを避ける為に、ホースが平行にしか曲らないことを確認してください</p>	
<p>ホースを2面以上で曲げない</p> <p>複数面でホースを曲げないように、クランプを使用してください。</p>		<p>目視検査</p> <p>取り付け前後に、製品の性能や安全性を損なう可能性のある物理的な欠陥がないことを目で確認してください</p>	
<p>流体の漏えい</p> <p>加圧されたシステムから漏れた液体は、皮膚に触れると浸透しけがや組織の損傷を引き起こす場合があります。ただちに専門医師の診察を受けて下さい</p>		<p>ホースの反動</p> <p>圧力のかかったシステムでラインの破裂が起きた際、重大なケガを引き起こす場合があります。ホース継手が飛び出すことや、反動で激しく動きます</p>	

流体による熱について

高温の場所や流体によるやけどにご注意ください。熱い流体を扱う際は、グローブや安全メガネまたはシールドを身につけて下さい



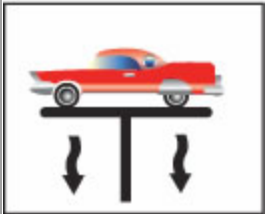
火災や爆発の発生

潤滑油は環境によっては引火する場合があります。加圧されたシステムから漏れたミストやガスは発火点にさらされた場合引火する恐れがあります。



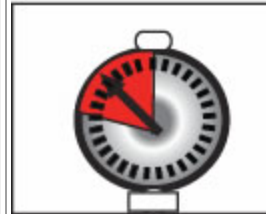
流量で制御されるメカニズム

システムに大きな荷重をかけないでください。ホースやチューブが破損すると、システムの圧力の損失により対象物が落下します



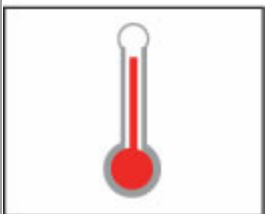
システムに使われる圧力

システムに使われる圧力の上昇は早い段階でホース/チューブやゲージの破損を引き起こします。システム内の圧力の急激な変化や波形を監視するための変換器を使用してください



温度による影響

放射温度計は流体や外部温度をチェックするのに定期的に使用できます。ホース/チューブの選択は各アプリケーションごとのホースの定格に従って行います。外部ソースからの熱量を減らす為にシールドを使用してください。



環境による影響

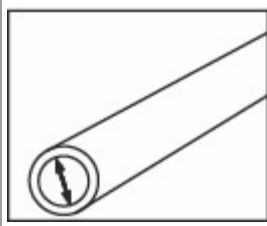
次のような外部環境条件下では、ホース/チューブの寿命を早めます。紫外線、海水、空気汚染物質、気温、オゾン結合、電気または摩耗



ホース/チューブの サイズ

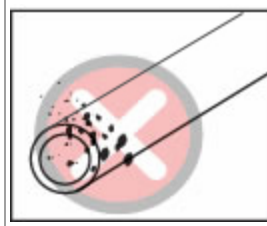
加圧システム内の流体は
流量や圧力によって変化
するという事実に基づ
き、常に圧力損失が最小
になるように

ホース/チューブを選択
します。ホース/チュー
ブのサイズ選択は製品仕
様や試作による計算に基
づいて決定されます。



ホース/チューブを 清潔に

ホースやチューブをカ
ットしたり取り付ける
際には、それらがきれい
で破片が付いていない
かを確認しましょう



(株)東北エンタープライズ
TOHOKU ENTERPRISE CO.,LTD